



KKK-603使用例

KKG-603
日本伝統工芸の粋
うるし 漆の素晴らしさと美しい木象嵌の調和

座卓は四隅に足がついているもの。掘座卓(団樂)はそんな常識をくつ返しました。四隅に足がないから、大人数でもゆとり。例えば、3×3サイズなら6~8名でも楽々座れます。使わない季節の収納は、新開発の自在枠におまかせ。90度回転するだけで床下に簡単に収納できます。中蓋を活かせば、冬は一家団樂の掘こたつ、春から秋にかけてはオシャレなテーブルに変身。和室はもちろん洋室にもぴったりです。また、美術工芸天板付の3×6サイズも新しくラインナップ。美術工芸天板は日本の伝統工芸である木象嵌と漆塗り。最新技術の塗装を施し、美術工芸品の美に硬度(8H)と耐久性をプラスしたものです。デザインも、3×3、3×5、3×6の各サイズの天板の色柄を一新し、形もすべて四角になりました。さらに、三洋電機と提携による最新型ヒーターを採用。あたたかさも大幅にグレードアップしました。

(303用ヒーター)



工芸天板
銘木

種類	寸法	3×6
品番		KKG-603
価格		
座卓		
梱包		
天板仕様		セラミック本漆UV塗装鏡面仕上げ 硬度8H 中華・木象嵌(バースアイメーブル)髹文様

生産完了品

種類	寸法	3×3	3×5	3×6
本体寸法(巾×奥行×高さ)		875×875×843%	1460×875×843%	1884×875×843%
炉箱開口寸法		810×810%	1395×810%	1719×810%
床下深さ寸法		480%以上	480%以上	480%以上
仕様	槽板上面、自在枠上面	カバ単板張り	カバ単板張り	カバ単板張り
	支柱	角型鋼管カーペット被覆	角型鋼管カーペット被覆	角型鋼管カーペット被覆
	支柱上部受、下部受	鋼板静電植毛仕上げ	鋼板静電植毛仕上げ	鋼板静電植毛仕上げ
	すのこ	木材ポリウレタン塗装	木材ポリウレタン塗装	木材ポリウレタン塗装
ヒーター		電子コントロールヒーター K-E540H 最大600W	サーモ式コントロールヒーター K-630H 最大600W	サーモ式コントロールヒーター K-630H 最大600W

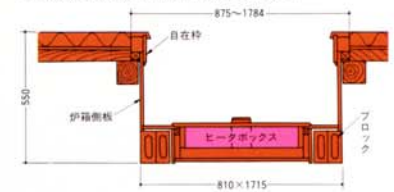
掘座卓(団樂)
1本足の発想は零から生まれた。

掘座卓を設置する箇所を決めて下さい。

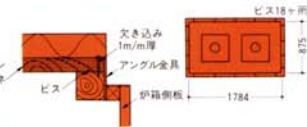
近代銘材の掘座卓ユニットの寸法は、910mmピッチ、90°角の大引内に入る様に設計されています。また、この「団樂」KKK-603は約6尺×3尺、KKK-303は約3尺×3尺の寸法を必要としますので(約畳一枚分)なるべく部屋の中央に置かれる様に下さい。

下図に従い床に開口部を設けて下さい。

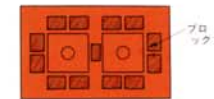
- コンパネ1790×885に開孔して下さい。(KKK-603)
- KKK-303は885×885に開孔して下さい。



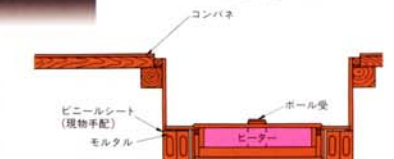
- 床下地材(コンパネ)を開孔したら、炉箱の四辺に吊り金具が付けてありますので付属の木ネジで固定して下さい。(L25mm×5.5=18ヶ入っています)
- 吊り金具は床下地材(コンパネ)に欠き込みをして、それぞれの上面が平面になる様施工して下さい。(下図参照)



- 下図の様に炉箱の側にブロックを置き安定させて下さい。



(防水紙又はビニールシートで炉全体を包んで下さい)



- ブロックの上にモルタルを塗り、モルタルが固まらぬうちに炉箱(本体)をはめ込んで下さい。(上図)以上で炉箱の設定は終わります。

